

外国語教育メディア学会関西支部  
第6次基礎理論研究部会 第1回研究例会のご案内

部会長 藪内 智 (京都精華大学)  
副部会長 里井久輝 (摂南大学)

「四月は、花もひらくし、心もひらけて闊達になる月。四月ほどめざましく心のひらく月はない。」  
(幸田文『季節のかたみ』より)

新しい年度を迎え、みなさんにおかれましてはご多忙のことと拝察いたします。早速ですが、下記のように基礎理論研究部会研究例会の開催案内をさせていただきます。

この部会も、いよいよ6次の活動を迎え、この4月から新たな研究テーマを掲げ、新たなスタートを切ります。今回は、“L2 Speech Processing”をテーマに、日本人英語学習者の音声言語処理について研究を進めていくことになりました。例会の運営としましては、ほぼ毎月一度の割合で文献の輪読および研究発表を行うという形を踏襲したいと考えています。装いを新たに出発するという事で、新入部会員も大歓迎いたします。このテーマに関心のありそうな方がおられましたら、是非お誘いいただきますようお願いいたします。なお一層活力のある研究活動を進めていきたいと思っておりますので、みなさん奮ってご参加ください。

1. 日時： 2009年4月25日 (土) 13:30~17:00

\*ただし、昨年度からの言語産出プロジェクトメンバーの方は11:00より実施いたします。

\*時間厳守をお願い致します。

2. 場所： 摂南大学大阪センター

【所在地】

大阪市北区梅田3-4-5 毎日インテシオ3F

連絡先：06-6346-6367 (直通)

【アクセス】

<http://www.josho.ac.jp/corp/jigyoubu/osakacenter/index.html>で確認できます。地下鉄西梅田駅から地下道を、左手にハービスプラザ、リッツカールトンを見ながら直進し(徒歩約5分)、ほぼ突き当たりを右側に曲がると「毎日(新聞)インテシオ」につながるエスカレーターがあります。2階からは、右側のエレベーターで3階に上がると大阪センターです。

3. 活動内容：

- ①顔合わせ、自己紹介
- ②研究の方向性について話し合い

③輪読文献の確認

④輪読

- ・ 藪内智 (京都精華大学)

Murray J. Munro & Ocke-Schwen Bohn. (2007). The study of second language speech learning: A brief overview. In Bohn, O.-S. & Munro, M.J. (Eds), *Language experience in second language speech learning: In honor of James Emil Flege*. pp3-11. Amsterdam and Philadelphia: John Benjamins.

- ・ 杉浦香織 (静岡文化芸術大学)

Aoyama, K. & Guion, S.G. (2007).

Prosody in second language acquisition: Acoustic analyses of duration and F0 range. In O.-S. Bohn & M. Munro (Eds.), *Language experience in second language speech learning: In honor of James Emil Flege*. pp.281-297. Amsterdam and Philadelphia: John Benjamins.

事務局：中西弘、杉浦香織

連絡先：oliver51twist@gmail.com